

河川基金助成事業

「東っ子 川と仲よし大作戦」 報告書

助成番号 : 2024 - 7214 - 003

埼玉県加須市立大利根東小学校
校長 氏名 小林 秀行

2024 年度

河川教育計画書【複数学年3年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲よし大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	S240009
2.河川教育の目標	河川教育を通して、川の恵みと自然の及ぼす害の両面を学び、これからつながる生き方や生きる力の育成をめざす。河川の基本的な機能と重要性について学ぶ。地域の河川に関する環境問題の認識を高める。				
3.育成したい資質・能力	観察力：自然環境や河川の観察を通じて、詳細に注意を払う力を養う。 理解力：河川の生態系や歴史的背景についての知識を深める。 環境保護意識：実際に環境保全活動に参加することで、環境に対する意識を高める。				
4.学年／人数	3年37人				

5.単元構想												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元目標	単元名「河川の役割と生態系」			単元名「私たちの地域の河川と歴史」			単元名「河川を守る活動」「サケ放流と生態系の保全」					
	理科：単元名「水と生き物の関係」- 水辺の生き物や水の性質について学ぶことができる。水辺の生態系と生物の多様性を理解する。河川が生態系に果たす役割と人間生活への影響を理解する。 環境教育：地域の小さな川や池に関する環境学習を行うことができる。			社会：単元名「私たちの地域の河川と歴史」- 地域の河川が人々の生活や歴史にどう関わってきたかを学ぶことができる。 総合：関連教科で川の地形や河川の役割について実践的に学ぶことができる。			特別活動：河川の清掃や生態系保護に積極的に参加し、環境保全の大切さを学ぶことができる。地域住民と協力し、河川生態系の保全活動に参加する。 地域の河川清掃や環境保全活動に参加する。					
	主たる教科：理科 関連教科：環境教育・国語・図工 12時間			主たる教科：社会 関連教科：総合・環境 15時間			主たる教科：特活 関連教科：総合・理科・環境 15時間					
主な学習活動	河川や池での観察活動や水質検査に取り組む。	河川観察会、生物サンプリング、水質検査。	国語：河川に関連する読書：川の生き物や川の役割に関する児童書を読み、感想文やブックレポートを作成させる。説明文の作：河川や水循環についての説明文を書かせ、情報の整理と表現力を養う。 図工：川の風景画：川辺のスケッチから風景画を描かせ、自然への観察眼を高める。 リサイクルアート：廃材を使用して、川に生息する動植物の造形活動を行い、リサイクルの重要性	環境問題に対する理解を深める。 SDGs教育：特に「清潔な水と衛生（目標6）」に焦点を当て、水質の重要性や水不足の問題について学ぶ。 クラスプロジェクト：SDGsの目標に関連したクラスプロジェクトを企画し、地域の河川に関するアクションプランを作成	地域の歴史資料館訪問、川にまつわる資料を読み解いてまとめる。	エコプロジェクト：学校周辺の川岸の清掃活動を行い、実際に環境保全に貢献する経験をする。 ゲストスピーカーの招待：環境保護団体や地域の河川管理者を招いて、水環境について学ぶ。	河川清掃活動、環境保全ポスターを作成する。 地元の河川を使った地域行事の調査やインタビューを行う。	地域と協力する水辺の生き物調査 地域住民と協力し、河川生態系の保全活動に参加する。 生物多様性調査プロジェクト、地域住民との意見交換会。	利根川の生き物を調べよう 【総合5時間】 ①鮭の生態について調べる。 ②鮭の卵をふ化させ、育てる。 ③大利根出張所の方の話聞く。 ④鮭の放流を行う。 ⑤調べたことや鮭を育て放流した感想をまとめる。 ⑥友だちの発表を聞いて自分の考えを比べる。			
	評価の観点	生き物や水質に関する観察記録の正確性、理科的知見の表現力。 ・生き物の特徴を観察できるか、水辺の環境と生活との関わりを理解している。	生態系に対する理解度、実験報告書の質。	・川や川辺に住む生き物に興味をもち、生き物の命を大切にする心が育っている。 ・陸上と水中の動物を比較し、根拠のある予想や仮説を立てながら問題解決する能力が高まっている。	河川の歴史的な重要性についてのレポートやプレゼンテーションの質。	地域文化への理解と歴史資料の分析能力。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての調べを活かし、河川の環境保全へとつなげていく力が高まっている。	活動への参加度、ポスターを通じた環境メッセージの伝達力。 地域の河川に関する歴史的・文化的背景を理解し、それを他者に説明で	協働によるプロジェクト実施能力、プレゼンテーション技術。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・利根川についての調べを活かし、利根川以外の河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。		

河川教育計画書【複数学年4年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲よし大作戦			学校名	加須市立大利根東小学校			助成番号	S240009																																																				
2.河川教育の目標	自然との共生を理解する基礎知識の習得 することができる。河川教育を通して、川の恵みと自然の及ぼす害の両面を学び、これからつながる生き方や生きる力の育成をめざす。																																																												
3.育成したい資質・能力	・河川の生態系や水循環に関する基本的な知識 ・環境保全の意識の育成 ・観察力と記録力の向上・川や川辺に住む生き物に興味をもち、生き物の命を大切にすることを育てる。 ・陸上と水中の動物を比較し、根拠のある予想や仮説を立てながら問題解決する能力を育成する。																																																												
4.学年／人数	4年36名																																																												
5.単元構想	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 5%;">月</th> <th style="width: 10%;">4</th> <th style="width: 10%;">5</th> <th style="width: 10%;">6</th> <th style="width: 10%;">7</th> <th style="width: 10%;">8</th> <th style="width: 10%;">9</th> <th style="width: 10%;">10</th> <th style="width: 10%;">11</th> <th style="width: 10%;">12</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">単元目標</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;">単元名「私たちの地域の河川」</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;">単元名「河川の恵みと暮らし」</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black;">単元名「私たちの行動と河川の未来」「サケ放流と生態系の保全」</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;"> 社会：単元名「私たちの地域の河川」-地域の河川の特徴と役割について理解する。 理科：関連教科で河川の生態系について学ぶ。 河川がどのように形成され、どのように変化するかを学ぶことができる。 </td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;"> 長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学をとおして、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶことができる。 河川が人々の生活にどのように利用されているか、またどのような環境問題があるかを学ぶことができる。 関連教科で河川をテーマにした調査方法を学び、実地調査に備えることができる。 </td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black;"> 総合：日常生活が河川にどのように影響を与えるかを学び、河川保全のためにできることを考える。 特別活動：サケの放流活動を通して、生態系の繋がりと保全の重要性を学ぶことができる。 理科：関連教科でサケの生態について学ぶことができる。 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;">主たる教科：社会 関連教科：理科・国語・図工 15時間</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black;">主たる教科：総合 関連教科：理科・社会・特活・環境 15時間</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black;">主たる教科：総合 関連教科：特活・理科・環境 15時間</td> </tr> </table>											月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	単元目標	単元名「私たちの地域の河川」			単元名「河川の恵みと暮らし」			単元名「私たちの行動と河川の未来」「サケ放流と生態系の保全」						社会：単元名「私たちの地域の河川」-地域の河川の特徴と役割について理解する。 理科：関連教科で河川の生態系について学ぶ。 河川がどのように形成され、どのように変化するかを学ぶことができる。			長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学をとおして、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶことができる。 河川が人々の生活にどのように利用されているか、またどのような環境問題があるかを学ぶことができる。 関連教科で河川をテーマにした調査方法を学び、実地調査に備えることができる。			総合：日常生活が河川にどのように影響を与えるかを学び、河川保全のためにできることを考える。 特別活動：サケの放流活動を通して、生態系の繋がりと保全の重要性を学ぶことができる。 理科：関連教科でサケの生態について学ぶことができる。						主たる教科：社会 関連教科：理科・国語・図工 15時間			主たる教科：総合 関連教科：理科・社会・特活・環境 15時間			主たる教科：総合 関連教科：特活・理科・環境 15時間					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																	
単元目標	単元名「私たちの地域の河川」			単元名「河川の恵みと暮らし」			単元名「私たちの行動と河川の未来」「サケ放流と生態系の保全」																																																						
	社会：単元名「私たちの地域の河川」-地域の河川の特徴と役割について理解する。 理科：関連教科で河川の生態系について学ぶ。 河川がどのように形成され、どのように変化するかを学ぶことができる。			長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学をとおして、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶことができる。 河川が人々の生活にどのように利用されているか、またどのような環境問題があるかを学ぶことができる。 関連教科で河川をテーマにした調査方法を学び、実地調査に備えることができる。			総合：日常生活が河川にどのように影響を与えるかを学び、河川保全のためにできることを考える。 特別活動：サケの放流活動を通して、生態系の繋がりと保全の重要性を学ぶことができる。 理科：関連教科でサケの生態について学ぶことができる。																																																						
	主たる教科：社会 関連教科：理科・国語・図工 15時間			主たる教科：総合 関連教科：理科・社会・特活・環境 15時間			主たる教科：総合 関連教科：特活・理科・環境 15時間																																																						
主な学習活動	・地域の河川の特徴と役割について調べる。	モデル河川を作成して、侵食や堆積の実験を行う。 河川に生息する生物やその生態系について調べる。 実際の河川観察活動をとおして観察やレポートのまとめ。 クラスでの川清掃などの環境活動に参加する。	国語： ・河川に関する物語や詩を読み、感想文や自分たちの地域の河川についての物語を書く活動。 ・河川や水循環に関する漢字学習を取り入れる。 図工： ・地元の河川をテーマにした絵画や模型作り。 ・リサイクル素材を使った河川や水生生物のアート作品を作成する。	地元の河川を調査し、利用状況と環境問題について学ぶ。	林間学校で長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学を通して、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶ。	特別活動： ・クラスで河川清掃活動を計画し、実行する。 ・河川に関するポスターやプレゼンテーションを学校のイベントで展示する。 環境教育： ・河川の生態系と環境問題について学ぶ。 ・地域の水源の大切さについてのクラス討論を行う。 SDGs： ・SDGsの目標6「清潔な水とトイレを世界中に」に関連付け、水	クラスで河川の清掃活動を企画・実施し、その経験をもとに河川保全の提案をする。	利根川の生き物を調べよう 【総合5時間】 ①鮭の生態について調べる。 ②鮭の卵をふ化させ、育てる。 ③大利根出張所の方の話聞く。 ④鮭の放流を行う。 ⑤調べたことや鮭を育て放流した感想をまとめる。 ⑥友だちの発表を聞いて自分の考えを比べる。	利根川ってこんな川！ 【6時間】 ①1年間で調べたことを話し合い、ワークシートに記入する。 ②利根川について学習したことをまとめる。 ③学習したことを発表する。 ④友達の発表を聞いて、自分の考えと比べる。 ※利根川以外の河川にも考えを広げ、川の環境や災害について考える。 →5年生の理科で学習する『流れる水のはたらき』につなげていく。 →6年生の理科で学習																																																				
	評価の観点	・身近にある利根川について積極的に調べようとする態度が育っている。 ・パソコンの操作方法を理解し、インターネットを用いて利根川について検索できる能力が高まっている。 河川の地形変化の原理を理解し、自らの言葉で説明できている。	知識の理解： 河川に生息する生物やその生態系についてのクイズやテストの結果。 観察力： 実際の河川観察活動での観察レポートの質。 環境への貢献： クラスでの河川清掃などの環境活動への参加度合いと貢献度。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての学習を活かし、河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。	河川の利用方法とそれに伴う環境への影響を理解し、適切な利用方法について考えをまとめ、述べられている。	体験や調査をとおして河川が私たちの生活にどう関わっているかをまとめ、伝えることができている。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての調べを活かし、河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。	河川環境に対する自分たちの影響を理解し、保全活動への参加意欲を見せることができている。	鮭の卵や稚魚を観察したり放流をしたりすることにより、川に住む生き物に興味をもち、生き物の命を大切にすることを育っている。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心を育てる。 ・利根川についての調べを活かし、利根川以外の河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力を育成する。																																																			

河川教育計画書【複数学年5年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲よし大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	S240009
2.河川教育の目標	河川の地域社会における役割と保全の重要性を理解する。河川教育を通して、川の恵みと自然の及ぼす害の両面を学び、これらにつながる生き方や生きる力の育成をめざす。				
3.育成したい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・河川が地域社会に与える影響についての理解 ・チームワークとプロジェクト管理能力 ・問題解決能力の育成 				
4.学年／人数	5年33人				

5.単元構想												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元目標	単元名:「河川の生態系と多様性」「水生生物と生態系の関係」			単元名:「河川文化と歴史」「河川環境の変遷と人の営み」			単元名「河川の役割と持続可能な社会」「サケ放流と生態系の保全」					
	河川の生態系の中での生物の役割と多様性について理解する。河川における水生生物の役割と生態系のバランスを理解する。			河川が地域の歴史や文化にどう影響してきたかを学ぶ 長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学をとおして、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶことができる。 河川が人々の生活にどのように利用されているか、またどのような環境問題があるかを学ぶことができる。 関連教科で河川をテーマにした調査方法を学び、実地調査に備えることができる。			河川が持続可能な社会に果たす役割を考えることができる。 総合: 日常生活が河川にどのように影響を与えるかを学び、河川保全のためにできることを考える。 特別活動: サケの放流活動を通して、生態系の繋がりと保全の重要性を学ぶことができる。					
	主たる教科: 総合 関連教科: 理科・社会・国語・図工 15時間			主たる教科: 社会 関連教科: 理科・総合・特活・環境 15時間			主たる教科: 総合 関連教科: 特活・理科・環境 15時間					

主な学習活動	河川周辺での生物調査を通じて、生態系内の種の相互関係を学ぶ。	生物の採集と観察、食物連鎖の模型作成。	国語: <ul style="list-style-type: none"> ・河川をテーマにした俳句や短歌を作成する。 ・河川に関する伝説や歴史を調べて発表する。 図工: <ul style="list-style-type: none"> ・河川の流れや周辺の自然環境を観察し、その特徴を表現した作品を作る。 ・河川をモチーフにした版画や立体作品を制作する。 	地元の河川にまつわる歴史的な場所や文化行事を調査し、レポートを作成する。 河川の歴史調査、現地での環境変化の観察。	林間学校で長瀬ライン下り体験、浦山ダム見学、鍾乳洞の見学、自然博物館見学を通して、河川が私たちの生活にどう関わっているかを体験的に学ぶ。	特別活動: <ul style="list-style-type: none"> ・河川をテーマにした学校行事やキャンペーンの企画。 ・地域の河川に関する調査活動を行い、その結果を学校新聞やウェブサイトで公開する。 環境教育: <ul style="list-style-type: none"> ・水循環や河川の生態系に関する実験や観察日記をつける。 ・地球温暖化と河川環境の変化について学ぶ。 SDGs: <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」に関連し、河川から海への影響を学び、水域の保全活動に参加する。 	グループで持続可能な河川利用に関するプロジェクトを計画し、提案する。	利根川の生き物を調べよう 【総合5時間】 ①鮭の生態について調べる。 ②鮭の卵をふ化させ、育てる。 ③大利根出張所の方の話聞く。 ④鮭の放流を行う。 ⑤調べたことや鮭を育て放流した感想をまとめる。 ⑥友だちの発表を聞いて自分の考えを比べる。	利根川ってこんな川！ 【6時間】 ①1年間で調べたことを話し合い、ワークシートに記入する。 ②利根川について学習したことをまとめる。 ③学習したことを発表する。 ④友達の発表を聞いて、自分の考えと比べる。 ※利根川以外の河川にも考えを広げ、川の環境や災害について考える。 →5年生の理科で学習する『流れる水のはたらき』につなげていく。 →6年生の理科で学習
評価の観点	問題解決: 河川に関する環境問題に対する解決策の提案とそのプレゼンテーション。 地域文化への理解: 地元の河川が地域の歴史や文化にどう関わっているかについてのレポート。 行動の変化: 河川教育を受けた後の環境保全に向けた行動の変化や家庭での環境に関する話題の持ち方。 河川生態系の中での各生物の役割を認識し、生態系のバランスの重要性について説明できている。	生物種の識別能力、食物連鎖の理解度。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての学習を活かし、河川の歴史、災害、環境へとつながっていく力が高まっている。 	河川と地域文化の関連性を理解し、その情報を組織的にまとめて発表できている。 歴史的視点から河川を考察する能力、変化認識の深さ	体験や調査をとおして河川が私たちの生活にどう関わっているかをまとめ、伝えることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての調べを活かし、河川の歴史、災害、環境へとつながっていく力が高まっている。 	持続可能性の観点から河川利用の提案ができている。提案に対する自己評価を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭の卵や稚魚を観察したり放流をしたりすることにより、川に住む生き物に興味を持ち、生き物の命を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・利根川についての調べを活かし、利根川以外の河川の歴史、災害、環境へとつながっていく力が高まっている。

河川教育計画書【複数学年6年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲よし大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	S240009							
2.河川教育の目標	河川環境に対する深い理解と、それを守るための実践的行動ができるようにする。 河川教育を通して、川の恵みと自然の及ぼす害の両面を学び、これからつながる生き方や生きる力の育成をめざす。											
3.育成したい資質・能力	環境倫理と持続可能な社会への貢献意識 調査研究能力と批判的思考力 コミュニケーションとプレゼンテーションスキル											
4.学年／人数	6年32名											
5.単元構想												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元目標	単元名：「河川の環境保全と国際的な取り組み」「河川と都市の発展」			単元名：「金沢市の河川調査と比較研究」「河川と災害予防」			単元名「サケ放流と生態系の保全」「河川文化と地域の連携」					
	河川保全に向けた国際的な取り組みを理解し、自分たちにできることを考える。河川と地域の経済について考えることができる。 河川が埼玉県や石川県金沢市の発展にどう寄与しているかを学ぶ。 関連教科で河川と都市開発の関係について学ぶ。			修学旅行で行う金沢市の河川調査や荒川、利根川との比較研究を通して、地域間での河川環境の違いを理解する。河川が災害時にどのような役割を果たすかを学び、防災意識を高める。河川が災害時にどのような役割を果たすかを学び、防災意識を高める。河川が引き起こす災害のメカニズムを学び、リスクマネジメントの基本を身に付ける。			総合：日常生活が河川にどのように影響を与えるかを学び、河川保全のためにできることを考える。 特別活動：サケの放流活動を通して、生態系の繋がりと保全の重要性を学ぶことができる。 理科：関連教科でサケの生態について学ぶことができる。河川が地域文化に与える影響を学び、地域連携を通じて文化保全の重要性を理解する。調査方法やデータの分析方法を学ぶ。					
	主たる教科：社会 関連教科：理科・総合・国語・図工 20時間			主たる教科：社会 関連教科：理科・総合・特活・環境 20時間			主たる教科：総合 関連教科：特活・理科・社会・環境 20時間		主たる教科：総合 関連教科：特活・理科・社会・環境 20時間			
主な学習活動	国際的な河川環境保全の事例を研究し、クラスで討議する。 河川が埼玉県や石川県金沢市の発展にどう寄与しているかを学ぶ。 関連教科で河川と都市開発の関係について学ぶ。	河川が地域の経済活動にどのように関わっているかを学ぶ。	国語： ・河川に関する報告書や論文の書き方を学ぶ。 ・地域の河川にまつわるインタビューや調査をもとにした作文や報告書を作成する。 図工： ・河川の環境変化をテーマにした映像作品やデジタルアートを作成する。 ・地元の河川を観察し、その情景をリアルに描写する風景画を描く。	地元の河川を訪れ、洪水時の対策を学ぶ。シミュレーションを通して、災害時の行動計画を立てる。 修学旅行で行う金沢市の河川調査や荒川、利根川との比較研究を通して、地域間での河川環境の違いを理解する。 関連教科で調査方法やデータの分析方法を学ぶ。	災害の事例について研究し、まとめる。避難計画の策定を考える。	特別活動： 河川保護に関するスクールプロジェクトを立ち上げる。地域社会に向けて河川の大切さを伝える活動を行う。 環境教育： 6年生では、生物多様性と河川の関係に焦点を当てる。具体的な活動としては、地元の河川に生息する生物の観察、種の識別、生態系の相互作用について学ぶ。水質測定や微生物のサンプリングを通じて河川の健康状態をモニタリングする。 SDGs： 河川のサステナビリティに関連するSDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」に注目し、河川の土地利用が生	利根川の生き物を調べよう 【総合5時間】 ①鮭の生態について調べる。 ②鮭の卵をふ化させ、育てる。 ③大利根出張所の方の話聞く。 ④鮭の放流を行う。 ⑤調べたことや鮭を育て放流した感想をまとめる。 ⑥友だちの発表を聞いて自分の考えを比べる。	利根川ってこんな川！ 【6時間】 ①1年間で調べたことを話し合い、ワークシートに記入する。 ②利根川について学習したことをまとめる。 ③学習したことを発表する。 ④友達の発表を聞いて、自分の考えと比べる。 ※利根川以外の河川にも考えを広げ、川の環境や災害について考える。 →5年生の理科で学習する『流れる水のはたらき』につなげていく。 →6年生の理科で学習	地域の河川祭りに参加する。河川文化プロジェクトについて考える。			
	評価の観点	国際的な視点で河川環境問題を捉え、それに基づく自分たちの行動を計画できている。	河川が地域の経済活動にどのように関わっているかについてまとめたことを伝え合っている。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての学習を活かし、河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。	修学旅行で行う金沢市の河川調査や荒川、利根川との比較研究を通して、地域間での河川環境の違いをまとめ、伝え合っている。	災害リスク理解の深さ、避難計画の実践性。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・河川についての調べを活かし、河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。	・鮭の卵や稚魚を観察したり放流をしたりすることにより、川に住む生き物に興味を持ち、生き物の命を大切にすることが育っている。	・自然の美しさに感動する心と自然と動植物が関わるすばらしさを感じる心が育っている。 ・利根川についての調べを活かし、利根川以外の河川の歴史、災害、環境へとつなげていく力が高まっている。	地域河川文化への貢献度、プロジェクト実施の能力。		

1.助成事業名	東っ子 川と仲良し大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	2024-7214-003
---------	--------------	-----	-------------	------	---------------

2.実際に行った単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

学習活動の結果	<p>川のはたらきと生き物</p> <p>・本校近くを流れる利根川河川敷や水中をすみかとする昆虫や魚等を調べることで、川が生き物のすみかとなっており、川をきれいに保つことが生き物の保全につながることに気づけるようにする。 ・本市を流れる川や遊水池と学校の周りを囲む田畑とのつながりを学習することで、河川の水が人々の暮らしを支えていることが実感できるようにする。</p> <p>関連教科:理科6時間、社会6時間</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>春の生き物 こん虫のかんさつ【理科】</p> <p>・校庭や学校の周りの田畑、河川敷にいる生き物を調べた。どのような生き物が、どんな場所にいるのかとめ、平地にいる生き物と水辺にいる生き物の違いについて気付きを得ることができた。調べて気付いたことは、学級内で発表会を行った。</p>   </div> <div style="width: 30%;"> <p>わたしたちのまち みんなの加須市【社会】</p> <p>・本校は加須市の北東に位置し、田畑が多いことを学習した。なぜ田畑が多いのかをグループで考察し、発表し合った。考察と発表をとおして、利根川があることで、農業に必要な水が豊富であることから、米作りなどの農業がさかんになったことを理解することができた。</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>人々の仕事とわたしたちの暮らし【社会】</p> <p>・わたしたちの暮らしを支える仕事は多岐にわたっていることを学習し、その中でも特に食を支える農業について焦点を当てた。 ・大利根地区で使われる農業用水は、利根川から利根大堰で取り入れられることや、川の水は上流の山に降った雨が集まっていることを学び、川を流れる水が農業に使われるまでを理解できた。さらに、水の大切さを感じられるように、農業体験として地域の方にご協力いただきさつまいもを育てた。</p>  </div> </div>	<p>加須市のうつりかわり（わたしたちの地域と川）</p> <p>・加須市のようなすがどのように移り変わっていったかを学習する中で、土地利用の変遷について焦点を当て田畑の減少とその対策について考えられるようにする。</p> <p>関連教科:社会7時間 総合的な学習の時間10時間</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>加須市の土地利用のうつりかわり【社会】</p> <p>・加須市の土地利用の変遷を調べていく中で、大きな道路や鉄道、商店、住宅地が増え、暮らしが便利になった一方で田畑の面積が減り、農作物の生産量も減っていったことに気付いた。 ・市内の町探検に出かけ、自分たちが住む地域でも田畑だった土地が減ってきていることを実感した。 ・大利根で盛んな農業をこれからも維持するためには、河川を含む自然環境を保全していく必要があることに気付き、理解を深めた。 ・暮らしを支える自然の保護には、環境を整備することが大切だと学習した。</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>サツマイモはかせになろう【総合的な学習の時間】</p> <p>・農作物には水や土地が重要であることを理解した上で、1学期に植えたサツマイモを収穫した。収穫でも地域の方にご協力をいただいた。 ・サツマイモを収穫し、焼き芋にして食べたことで、農作物の恵みと農業の大変さを実感することができた。併せて、実ができるまでの過程で水やりが大変重要であることを実感することができ、利根川の水を守る意義を再確認することができた。 ・サツマイモの育て方や水、河川との関わりについて、調べ学習をした。</p>  </div> </div>	<p>「大利根の川や水を守ろう」「サケの放流で生き物を守ろう」</p> <p>・農作物の調べ学習をとおして、利根川の水の恵みについて理解を深め、考えを広められるようにする。 ・サケの稚魚を孵化させ、放流できるまで育てる活動とお川に住む生き物の尊さとそれを守ることを実感するとともに、利根川を大切にしようとする意欲を高められるようにする。</p> <p>関連教科: 総合的な学習の時間12時間 理科2時間</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>サツマイモはかせになろう【総合的な学習の時間】</p> <p>・1、2学期のサツマイモ収穫までの体験をいかして農業と水の関わりについて調べたことをグループでまとめ、発表した。 どのグループも農作物と水は深く関わっていることに気付いており、まとめることができた。 発表は学習参観の際に実施し、保護者や他学年の児童にも調べたり気付いたことを広めることができた。</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>サケを放流して、川と生き物を守ろう【総合的な学習の時間】【理科】</p> <p>・4年生と協力して、サケの受精卵を孵化させ、放流するまでの大きさに飼育した。放流は4年生の任せだが、自分たちが育てた稚魚を利根川に放流するにあたり、寂しさを感じながらも「無事に戻ってきてほしい」「戻ってこられるように、川を大切にしたい」と、生き物のために川をきれいに保とうという意欲をもたせることができた。</p>  </div> </div>
---------	---	---	---

<p>3.得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の周りの様子を知るために町探検や虫取りに行ったことにより、田畑が多いことや川に近いこと、水が豊富に流れていることを改めて実感することができ、自分たちの住む地域は利根川に支えられているという川に対する誇りを醸成することができた。 ・社会の学習とつなげたことで、土地の変遷について田畑が減り農作物が減っているという課題に気付くことができ、自分たちの住む地域の産業を守ろうとする郷土愛が育まれた。 ・農作物と河川の関わりに関心を持って学習をすすめたことで、普段口にしている食べ物は豊かな川によって支えられていて、ひいては自分たちの生活と川が密接に関わっていることを実感することができた。 	<p>4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水は生活と密接に関わっており、水が生きていくために必要であることは3年生でも実感しやすい。そのため、自然環境保護の意識を高めるには生活との結びつきが強い河川を題材にしたことが有効であった。 ・本校は利根川近くに位置し、児童も川を普段から身近に感じている。見慣れた川について学習を深めたことで、新たな発見や気付きを多く得られたという点で、非常に有効であった。また、調べて分かったことを同じ地域に住む保護者や他の児童に伝える際にも「川の恵みをよくわかっている人たちに紹介する」という具体的な相手意識をもつことができた。
---	---

河川教育 学習活動報告書【複数学年4年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲良し大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	2024-7214-003
---------	--------------	-----	-------------	------	---------------

2.実際に行った単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

学習活動の結果	<p>埼玉県の川とわたしたちの暮らし</p> <p>・生活用水がどこから、どのように自分たちのものに届いているのかを学習し、河川の水と人々の暮らしが密接の関わっていることを理解できるようにする。 ・浄水場や首都圏外郭放水路の見学を実施し、埼玉県全体では川や水とどのように関わっているのかを理解できるようにする。</p> <p>関連教科:理科4時間、社会10時間</p>	<p>河川の恵みとわたしたちの暮らし</p> <p>・長滞での荒川ライン下りの体験や川遊び体験、川魚を食べる体験をとおして、河川が生活用水としての水を運ぶ役割をしているだけでなく、生き物のすみかになったり、人に喜びを与えたりもしてくれることを理解できるようにする。 ・様々な恵みを生み出す河川だからこそ、その環境を守ろうとする保護意識を高められるようにする。</p> <p>関連教科:学校行事12時間 社会4時間</p>	<p>わたしたちの行動と河川の未来「サケの放流で生き物を守ろう」</p> <p>・社会科見学や林間学校の体験を活かして、河川について調べたことや分かったことを新聞にまとめ、学校内外の人へ伝えることができるようにする。 ・サケの稚魚を孵化させ、放流する活動をおして、川にすむ生き物の尊さとそれを守ることを大切にする。実感するとともに、利根川を大切にしようとする意欲を高められるようにする。</p> <p>関連教科:社会6時間 総合的な学習の時間6時間</p>
	<p>雨水のゆくえと地面のようす【理科】</p> <p>・地面に染みこんだ雨水は、地下水となって地面の中を流れ、川に流れ出ることを学習し、利根川を流れる川の水はもとをたどると雨水であること知り、驚きとともに雨水の大切さを理解することができた。さらに、異常気象によって、川の水位が異常に上がったり、下がったりして災害につながることも気付くことができた。</p>	<p>暮らしをささえる水【社会】</p> <p>・加須市全体の水の使用量から、生活を成り立たせる上で多くの水が使われていることを学習し、それらの水はどこから得ているのかを学んだ。川やダムからとった県の水を市の浄水場で処理し、蛇口を流れることを知り、川の水が生活用水となることを理解し、河川の大切さを改めて実感することができた。また、学校近くを流れる利根川は、加須市だけでなく、埼玉県全体やその他の県にとっても大切な存在であることを理解することができた。 ・社会科見学で浄水場や首都圏外郭放水路を見学した。河川の管理や水害の対策は県や国を挙げて実施されていることであり、日本全国で川や水はなくてはならないもの、守らなければならないものであることを理解することができた。</p>	<p>林間学校【学校行事】</p> <p>・4・5年生合同で林間学校を実施し、荒川が流れる長滞を宿泊地として、山と川の両方に触れることができた。山登りでは、湧き水が出てくる様子を観察することができ、山に降った雨が山の中で濾過され、きれいな湧き水として川に流れ出ていることを実感することができた。 ・荒川のライン下り体験し、その流れの雄大さを感じるとともに、水を運ぶだけではない川の楽しさと奥深さを知ることができた。また、河川が人々を楽しませるものとして存在していることもあることを身をもって理解することができた。 ・川魚を食べる体験をとおして、水質が保たれた場所ではおいしい魚がとれたり生き物がすみやすくなったりすることがわかり、河川の水質を守る大切さを感じるすることができた。</p>
	<p>自然を守りはぐくむまち【社会】</p> <p>・林間学校で豊かな自然に触れた体験をいかして、社会の学習の中で、人々の暮らしを豊かにする川を守るためにはどうすればよいか学級内で話し合った。児童からは、「あれだけきれいだった川を汚すのは絶対にだめ」「川に来る人がマナーを守ったり、近くの川もきれいにするためにゴミを拾ったりするといいいんじゃない」など、実際に見て感じたことを活かした意見を述べる姿が見られた。さらに、ゴミを拾うなど河川を守る活動は、学校近くを流れる利根川でも実施されていることを調べた児童もおり、環境保全の意欲を高めることができた。</p>	<p>利根川ってこんな川【社会】</p> <p>・生活用水と利根川とのつながりや林間学校を体験してわかった河川の恵みについて分かったことを新聞にまとめる活動をした。体験や実感を伴った学習を経験していることで、より深く、自分の思いを伝えようとする相手意識を高めることができた。 ・本やインターネットで調べただけでなく、「実際に見てみると〇〇だった」などが体験した感想も書き入れることができていた。</p>	<p>サケを放流して、川と生き物を守ろう【総合的な学習の時間】</p> <p>・3年生と協力してサケの受精卵を孵化させ、放流できるまでの大きさに飼育した。河川事務所や地元企業の支援のもと、利根川に育てた稚魚を放流した。放流を通して、生き物の大切さや自然の厳しさを理解することができたと同時に、生き物を守り、川をきれいに保とうとする意識を育むことができた。</p>

<p>3.得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科、社会と結びつけながら河川の水の成り立ちや災害が起きたときの怖さとその対策について学習を進めたことで、知識と体験がつながり、理解を深めることができた。 ・通常の学習では、水と生活の関わりに重点が置かれがちだが、林間学校で河川教育を取り入れることによって、児童が新たな河川の一面を発見できた。 ・サケの稚魚放流をとおして、環境への保護意識が高められたと同時に、河川の現状の危うさを理解することができた。現状を深く理解できたことで、問題を自分事として捉え、環境をよくするためにはどうすればよいか真剣に考えることができていた。 	<p>4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川が自分たちが住む地域だけでなく、県全体さらには関東全体を潤していることを理解でき、利根川を誇りに思う郷土愛を育むことに有効であった。 ・身近な利根川と長滞を流れる荒川の違いを感じたことで、川を活かした産業の違いにふれることができ、様々な自然の活用方法があることを理解する上で非常に有効であった。 ・利根川を身近に感じている本校児童にとって、これまで身近すぎてその偉大さに気付きづらい部分があったが、日常ではできないふれあい方をしたことでその重要性に気づき、これまで以上に利根川に愛着をもつことができ、効果的であった。
---	---

河川教育 学習活動報告書【複数学年5年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲良し大作戦	学校名	加須市立大根東小学校	助成番号	2024-7214-003
---------	--------------	-----	------------	------	---------------

2.実際に行った単元構成
注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

「川の生き物の生態」「河川の恵み」

・川にすむ魚の生態について学ぶことで、川にすむ生き物の役割と多様性について理解できるようにする。
・大根の産業の中心である稲作には、河川からの水が重要であることを理解できるようにする。

関連教科:理科6時間、総合的な学習の時間4時間

「川の役割」「河川と人の関わり」

・長瀬での荒川ライン下りの体験や川遊び体験、川魚を食べる体験をとおして、河川が生活用水としての水を運ぶ役割をしているだけでなく、生き物のすみかになったり、人に喜びを与えたりもしてくれることを理解できるようにする。
・絵画や稲作を通して、河川の水を守ろうとする保護意識を高められるようにする。

関連教科:学校行事12時間 図工6時間 総合的な学習の時間2時間

河川の役割と持続可能な社会

・自然環境を守るために今の社会がどうあるべきかを述べた意見文を書く活動とおして、河川環境の現状を理解しながら環境を保ったり継続して恩恵を受けたりできるようにするにはどうすればよいか意見をもてるようにする。
・河川の恵みについてまとめ、学習参観で発表し、考えを広められるようにする。

関連教科:国語6時間 総合的な学習の時間14時間

学習活動の結果

魚のたんじょう【理科】

・メダカの生態を学習し、卵から成魚になるまでの過程の中で、大きくなるための様々な工夫がなされていることを理解することができた。
また、成魚となったメダカは水の中にすむ目に見えない小さな生物をエサにしていることを知り、川の中には目に見えなくても生物がいて生態系を支えていることが分かり、川への理解を深めることができた。
・市から分けていただいたメダカを飼育し、生き物への愛情を育むことで、生き物が育つ環境を大切にしようとする意識を高めることができた。

米作りを体験しよう(田植え)
【総合的な学習の時間】

・大根地区の中心となる産業である農業、特に稲作を体験することで、稲作には川の水が重要であることや大根地区の農業には利根川の恵みが不可欠であることを実感することができた。
・米作りを絶やさないようにする産業維持の意識と、そのために河川をきれいに保とうとする環境保全の意識を同時に高めることができた。



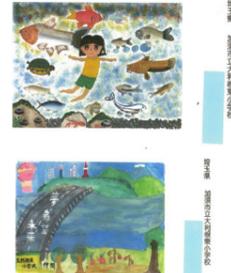
林間学校【学校行事】

・4・5年生合同で林間学校を実施し、荒川が流れる長瀬を宿泊地として、山と川の両方に触れることができるようにした。山登りでは、湧き水が出ている様子を観察することができ、山に降った雨が山の中で濾過され、きれいな湧き水として川に流れ出ていることを実感することができた。
・荒川のライン下り体験をし、その流れの雄大さを感じるとともに、水を運ぶだけでない川の楽しさと奥深さを知ることができた。また、河川が人々を楽しませるものとして存在していることもあることを身をもって理解することができた。
・川魚を食べる体験をとおして、水質が保たれた場所ではおいしい魚がとれたり生き物がすみやすくなったりすることがわかり、河川の水質を守る大切さを感じることができた。



川はともだち【図工】

・林間学校での学びをいかして、川に関わる絵画を描いた。描いた絵画は利根川上流河川事務所が主催する「川はともだち」の絵画コンクールに出品した。描いた絵には、川で遊ぶ自分たちや川の美しさ、川にすむ生き物のかわいさを表現した絵が多く、川の素晴らしさを実感できていることがわかる作品となった。



米作りを体験しよう(田植え)
【総合的な学習の時間】
【家庭科】

・5月に田植えをした田んぼで、稲刈り体験を実施した。水を管理しながら育った稲を刈ることで、大きく育てるには多くの手間と豊かな水が大切であることを理解できた。
・さらに刈り取った米を精米し、家庭科の調理実習で炊飯して試食した。おいしい米になった時のうれしさを実感することができ、豊かな河川の恵みを感じることができた。



自然環境を守るために【国語】

・国語「自然環境を守るために」の学習で、河川の現状と課題、環境保全への対策を考え意見文を書いた。書いた意見文は、地域の公共施設に掲示し、地域の方に自分たちの考えを広めることができた。



川の恵みを調べて、広めよう
【総合的な学習の時間】

・総合的な学習の時間を使い、これまでの体験や新たに調べたことを模造紙にまとめ、学習参観で保護者や他の学年の児童に発表した。
・調べ学習や発表をとおして、河川の環境保全を自分事として捉え、他の人にも呼びかけようとする意欲を高めることができた。



3.得られた成果
・多くの体験活動を取り入れたことで、河川の環境問題を自分事として捉えたり、河川の恵みを直に感じることができたりした。
・河川の環境問題を自分事として捉えたことで、今の自分に何ができるかを真剣にかつ具体的に考えることができるようになった。
・河川はくらしに関わる部分だけでなく、川遊びなど観光地としての役割を果たしているという側面に気付くことができた。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
・本校近くを利根川が流れ、本学年は台風による増水で避難した経験をもつ児童もいた。河川の課題やこわさを身をもって理解しているからこそ、多くの恵みや楽しさがあるということを伝えられるようにした。実際に児童は、河川を多角的な視点から見つめ、時には牙をむくときがあっても、自分たちにとって親しみがあり生活にも深く関わるものだという理解を深めることができた。
・河川を身近に感じているからこそ、調べ学習等ではより深くしらべようとする意欲を保つことができた。

河川教育 学習活動報告書【複数学年6年生】

1.助成事業名	東っ子 川と仲良し大作戦	学校名	加須市立大利根東小学校	助成番号	2024-7214-003
---------	--------------	-----	-------------	------	---------------

2.実際に行った単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

河川の環境保全の広がり

- ・河川の水について外部講師を招き、水質や水の役割について理解を深める。
- ・修学旅行先である石川県金沢市には、どんな川があるか調べ、河川比較の見通しをもつ。

関連教科:理科2時間、社会8時間

「金沢市の河川調査と比較研究」「河川と災害予防」

- ・修学旅行先で河川の観察・調査をし、自分たちが住む地域の川との比較をし共通点や相違点に気付くことができるようにする。
- ・地震の災害に見舞われた金沢市と台風による洪水の恐れがあった利根川について調べ、災害が起きたときの対処法を身に付けることができるようにする。

関連教科:学校行事12時間 社会5時間 理科5時間

「河川と地域のつながり」

- ・修学旅行での体験をいかし、自分たちが住む地域と金沢市の共通点や相違点について学習参観で発表できるようにする。
- ・河川と向き合うために自分たちができることを考え、実践することができるようにする。

関連教科:総合的な学習の時間16時間 理科8時間

学習活動の結果

水教育出前授業【理科】

- ・サントリー様より講師をお招きし、水質や水の役割について出前授業を実施した。
- ・普段身近にある水の奥深さや、水に関わる環境の現状について理解を深めることで、探求しようという意欲を高めることができた。
- ・利根川の水について質問する児童もおり、身近な河川と飲料水としての水とのつながりを実感できている姿が見られた。



異なる地域の川を調べよう【社会】

- ・修学旅行の行き先である、石川県金沢市を流れる河川とそれらが流れ出る日本海について調べた。
- ・海が近い石川県は、様々な川が密集しており、海岸近くの町では川に囲まれるような場所があることなど、自分たちが住む地域との違いに驚き、興味をもつことができた。同時に、利根川にもある河川事務所が金沢市にもあることを知り、自分たちの地域との共通点に気付くとともに、どの場所でも河川は守られるべきものであることを理解することができた。
- ・深く調べを進められたことで、修学旅行で実際に川を見てみたいという思いをかめることができた。

修学旅行【学校行事】

- ・石川県金沢市を旅行先として修学旅行を実施した。班別行動の中で、金沢市を流れる犀川や浅野川、大きな堀がある金沢城を見学し、利根川のように大きな川でなくとも、くらしと密接に関わる川があることを理解することができた。
- ・金沢市を流れる川の周りにも田園地帯が広がる地域があり、自分たちが住む大利根と似た風景であることに気付き、河川は農業に大きな恵みをもたらしていることを改めて実感することができた。
- ・金沢市の観光地を流れる部分は、景観にあわせて石垣や街灯で飾られていることに気付き、街を流れる川と自然の中を流れる川の違いを感じることができた。



災害を防ぐには【社会・理科】

- ・修学旅行で、大きな地震が起きた地域を目にした体験と自分たちが住む地域を流れる川で起きた災害について、それらを防ぐために実際に行われている対策について調べたり、実際に自分たちができていることについて話合ったりした。
- ・川がなくなれば、その恩恵を受ける人たちが苦しむことになるため、災害とうまく付き合っていくかなければならないことを感じていた。
- ・天災が起きることは防げないが、ハザードマップを見て避難場所を確認したり防災用品を準備しておくことで、被害を最小限に防ぐことはできると理解することができた。

金沢市と大利根を比べて紹介しよう【総合的な学習の時間】

- ・金沢市を流れる河川と大利根を流れる利根川の比較や防災について調べたことをまとめ、学習参観で保護者や他の児童に向けて発表し、考えを広めることができた。
- ・実際に見てきたことで、自分たちの驚きや発見を具体的に発表することができていた。
- ・聴き手となった保護者や他学年の児童も遠く離れた地でも共通点があることに興味をもち驚いていた。



身近な環境を守るために【理科】

- ・これまでの河川についての調べ学習や体験、発表とおして河川の大切さや奥深さを理解することができた。理科では、環境問題について取り上げ、河川の汚染も喫緊の課題であることを学習し、今すぐに自分たちが実践できることを考えた。その中で、水路はどれも川につながっているため、自分たちの一番近くの水路をきれいにしようとし話し合い、校庭の用水路を清掃し、実践意識を高めることができた。



3.得られた成果

- ・身近な川から、遠く離れた場所（石川県金沢市）の川へと調査対象を広げたことで、児童の気付きの視点が幅広くなり、様々な見方で川を見ることができた。
- ・場所によって、川のあり方が変わっても、その地域の人々が河川の恩恵を受け、大切にしていることを理解することができた。
- ・河川に近いほど、洪水などの自然災害に見舞われる危険性は高くなるが、事前に対策をしておくことで上手に川と付き合うことができることを理解することができた。
- ・金沢城の堀に触れたことで、昔から河川の水が利用され、人々を支えてきたことを実感することができた。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

- ・修学旅行に向けて、「河川調査」という貫いた1つのテーマがあったことによって意欲が高まると同時に、学習をより深めることにもつながった。
- ・利根川近くに住む子どもたちにとって、河川と災害は切り離せないものであるが、恩恵を受けられるものでもあり、守るべき物であるという郷土愛につながった。
- ・身近な川の環境を守ろうと実践につなげる姿から、未来にきれいな河川や水をつなげようとする実践意識の高まりを感じることができた。

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7214-003	東っ子 川と仲よし大作戦	加須市立大利根東小学校



学年：3年生

学習活動名：こん虫のかんさつ

見られたこどもの変容

学校の周りの田畑や河川敷にいる生き物の調査をとおして、川には魚だけでなく虫も生息していることに気付くことができた。また、川と田畑を同時に見学できたことで作物が育つ水が川からきていることを実感できた。



学年：4・5年生

学習活動名：林間学校

見られたこどもの変容：

荒川のライン下りや川遊び、魚つかみ体験をとおして、作物を育てたり飲み水となったりする以外にも川や水は人に楽しさや喜び、いやし、豊かさを与えてくれることを実感できた。



学年：4年生

学習活動名：サケの稚魚放流体験

見られたこどもの変容

サケの稚魚を放流したことで、大きく戻ってくることに思いを馳せ、利根川をきれいに保とうとする環境保全への意欲や川や水を大切にしようという郷土愛を育むことができた。



埼玉県 加須市立大利根東小学校



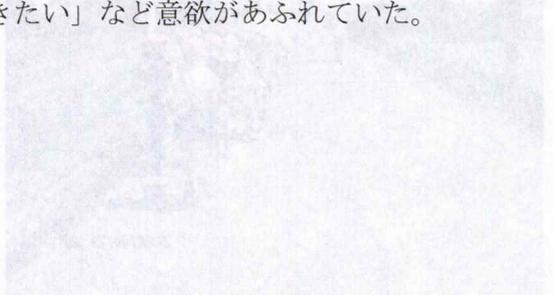
埼玉県 加須市立大利根東小学校

学年：5年生

学習活動名：川はともだち

見られた子どもの変容

林間学校で触れた川の魅力について、絵画をとおして表現することができた。「魚とりをしたから魚も描きたい」や「長瀬で開催される花火大会を描きたい」など意欲があふれていた。



学年：6年生

学習活動名：修学旅行

見られた子どもの変容

遠く離れた地域でも河川や水が大切にされていることを確認することができた。また、河川の近くにはどの地域も田畑が広がっていることを目の当たりにできた。さらに、「人がたくさん観光に来る河川の水や橋はきれい」など、観光用に整備された河川もあることに気付いた。



注1) 子どもの変容が分かる写真を掲載し、その変容が見られた学習活動名、見られたこどもの姿（変容）を記載してください。その際、できる限り子どもが発した言葉などを拾い上げてください。

注2) 全ての活動について載せる必要はありません。

利根川の魚

利根川には、10種類以上の魚がいます。イワナ、アユ、コイ、フナ、ドジョウ、ウナギ、ウケイ、サケ、ソウギ、ハクレンといった魚たちがいます。ソウギとハクレンは、利根川で自然に産卵しています。サケも川を上ってきて、その数は年々増えています。

群馬県	592人
栃木県	352人
埼玉県	86人
千葉県	4人
東京都	8人
約	1100人

カスリーン台風は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風、て何?

カスリーン台風は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風の進路

カスリーン台風の進路は、太平洋から北上して、千葉県の前を通り、北に上がって、栃木県の前を通り、利根川流域に達しました。

利根川の歴史

利根川は、約3500年前に誕生しました。利根川流域には、約1100人の人口が住んでいます。利根川は、約3500年前に誕生しました。利根川流域には、約1100人の人口が住んでいます。

群馬県	592人
栃木県	352人
埼玉県	86人
千葉県	4人
東京都	8人
約	1100人

カスリーン台風の歴史

カスリーン台風の歴史は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風の進路

カスリーン台風の進路は、太平洋から北上して、千葉県の前を通り、北に上がって、栃木県の前を通り、利根川流域に達しました。

カスリーン台風の被害

カスリーン台風の被害は、死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風の対策

カスリーン台風の対策は、堤防の強化、避難所の整備、防災意識の向上などです。

カスリーン台風について

カスリーン台風は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風の対策

カスリーン台風の対策は、堤防の強化、避難所の整備、防災意識の向上などです。

カスリーン台風の歴史

カスリーン台風の歴史は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

利根川の歴史

利根川の歴史は、約3500年前に誕生しました。利根川流域には、約1100人の人口が住んでいます。利根川は、約3500年前に誕生しました。利根川流域には、約1100人の人口が住んでいます。

カスリーン台風の歴史

カスリーン台風の歴史は、昭和22年9月14日〜15日に起こった災害です。被害になった県は、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、東京都です。死者約1100人、家屋浸水303戸、負傷者約150人、行方不明者853人、大きな被害をもたらしました。

カスリーン台風の対策

カスリーン台風の対策は、堤防の強化、避難所の整備、防災意識の向上などです。

ハクレンの姿を見よう!

利根川の生き物新聞

発行日 令和7年2月3日

名前

利根川のハクレンをよこす
ハクレンは日本では
利根川のみ。そして
何十匹というハクレー
オキヤンプする姿を
を見ることが出来る。

ウナギをよこす
夜になると出て
きくや物を採る
テナガエビは
肉食性でよく
ちんぼ本の長
い手かあります。

利根川の
スボテンドガイ
利根川の
スボテンドガイ
利根川の
スボテンドガイ

カスリーン台風と利根川の災害

利根川生き物新聞

発行日 令和7年2月14日

名前

利根川は日本で第二に
もなる全長三百二十キロの巨
大な川です。しかし昔はとて
も小さい川で荒れ地でした。

首都圏の利根川は、埼玉県春日
部市に川の水が流れてくる。川
の地下放水路で、この放水路は川
の大きな川の水を流すことに
なっています。

ユアエは利根川などの
川に生息している魚
で、ユアエの命は年
で年かたたり入りを
閉じました。ユアエは
閉じました。ユアエは
閉じました。

カスリーン台風、利根川に被害

利根川の災害新聞

発行日 令和7年2月4日

名前

地名	死者の過水(人)	死者
千葉	263	4
埼玉	44,610	86
群馬	31,091	592
茨城	10,482	53
栃木	5,000	352
東京	56	8
合計	13,387	1,100

まよめ

利根川で決壊した日は、昭和
二十二年九月二日に決壊
しました。そして、利根川とい
うと、利根川で決壊しま
した。利根川で決壊した日
は、昭和二十二年九月二日
に決壊しました。利根川とい
うと、利根川で決壊しま
した。

カスリーン台風死者
昭和二十二年九月に発生
したカスリーン台風は、
群馬、埼玉、栃木、千葉
の各県で被害をもたら
しました。利根川は、この
台風で決壊し、利根川上
流で決壊した。利根川上
流で決壊した。利根川上
流で決壊した。

生き物(竹)とは、

生き物(竹)新聞

発行日 令和7年2月5日

名前

オスは、少し小犬、
自ずから長く曲がった
尾、尾の先が長い。尾
の先が長い。尾の先が
長い。尾の先が長い。

まよめ

オスとメスのちがい
オスは、少し小犬、
自ずから長く曲がった
尾、尾の先が長い。尾
の先が長い。尾の先が
長い。尾の先が長い。

まよめ

カスリーン台風(ひがし)



カスリーン台風は、千九百四十七年にひがしにおきてしまし、九月十日に早稲刈りに発生したカスリーン台風です。一都五県に大くま、埼玉、栃木、茨城、千葉、東京(土京)です。色々の被害に悩ましてきました。そして死者、人、し、今、かあくか、三千、三千、六百、十戸の水が流れてしました。

利根川

新聞

発行日
令和7年2月18日

名前

カスリーン台風(くわしく)

どんなひがし

利根川の村に、カスリーン台風が来たので、なすけて、雨、降、て、あ、ら、か、し、み、秋、雨、前、線、に、よ、て、雨、が、か、て、い、た、と、こ、に、暴、風、に、よ、る、雨、の、か、り、利、根、川、に、わ、た、つ、た、水、量、の、雨、を、ら、した、点、で、す。

カスリーン台風の本任は、
ほう
カスリーン台風は、千九百四十七年にひがしにおきてしまし、九月十日に早稲刈りに発生したカスリーン台風です。一都五県に大くま、埼玉、栃木、茨城、千葉、東京(土京)です。色々の被害に悩ましてきました。そして死者、人、し、今、かあくか、三千、三千、六百、十戸の水が流れてしました。

まとめ

おは、これ、が、利、根、川、に、い、て、と、り、た、し、色、々、の、水、害、や、台、風、に、つ、い、て、こ、の、と、り、こ、を、し、て、い、た、で、す。
お、み、ん、ご、と、に、な、り、な、い、よ、う、に、す、る、に、め、し、は、い、か、ん、を、た、く、を、し、て、い、い、か、ん、を、よ、う、を、め、ど、し、て、み、ん、ご、が、し、あ、わ、せ、し、い、く、ら、を、よ、う、し、し、た、い、で、す。



助成番号	助成事業名	学校名
2024-7214-003	東っ子 川と仲良し大作戦	加須市立大利根東小学校

主な実施箇所 加須市利根川河川敷



助成事業の主な実施箇所

林間学校登山（宝登山）・長瀬ライン下り（荒川）



修学旅行河川調査場所（犀川・浅野川・金沢城）

